

褥瘡推定発生率・改善率

「褥瘡推定発生率」では入院中、新たに褥瘡(床ずれ)が発生した患者様の割合を示し、「新規発生した褥瘡の改善率」ではその改善した割合を示しています。褥瘡は、患者様のQOL(生活の質)の低下をきたします。また、感染症を引き起こすなど治療が長期になると、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大につながります。よって、「褥瘡推定発生率・改善率」は看護ケアの質評価の重要な指標の一つとなっています。

【当院の活動】

毎月2回、皮膚科医師、看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士と褥瘡回診を行い、早期治癒や予防ケアに努めています。また、年2回の勉強会を開催し、褥瘡に対する知識向上を図っています。さらに、褥瘡対策委員会が設けられ、毎月1回開催しています。院内での褥瘡の発生防止と発生後早期からの適切な治療を含めた対策を行い、治療の促進を図ることを目的としています。

1) 褥瘡推定発生率

対象病棟： 一般病棟、回復期病棟、地域包括ケア病棟

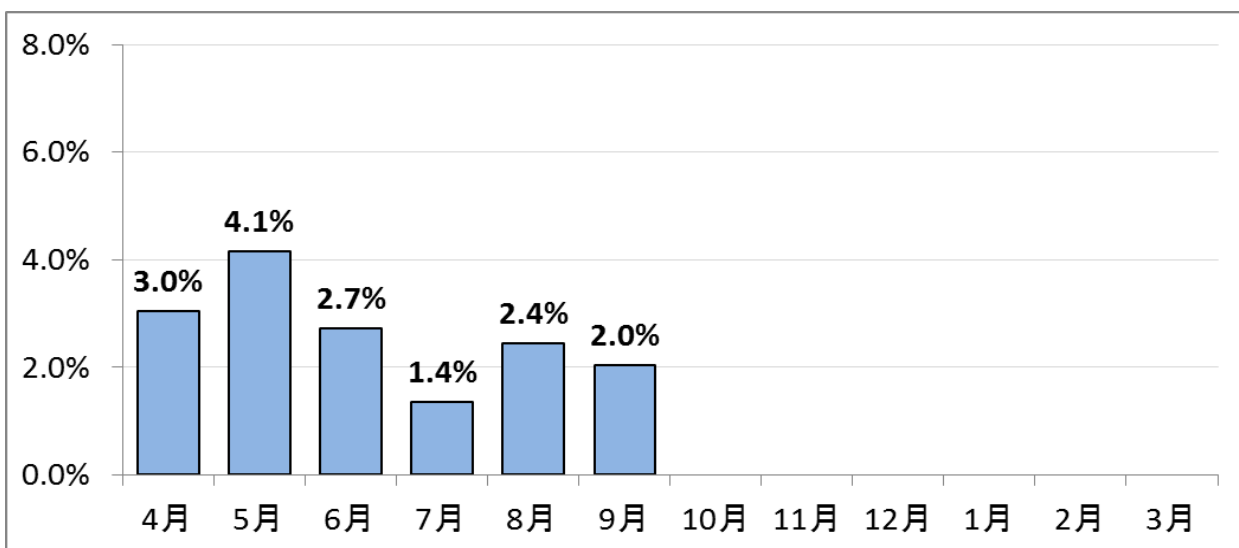
計算式：

$$\frac{\text{分子) 1ヵ月間で新たに褥瘡を生じた患者数}}{\text{分母) 1ヵ月の入院実患者数}}$$

対象期間： 毎月

データ件数：

	2022年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分子	15	19	16	7	11	9						
分母	493	458	585	516	450	442						
発生率(%)	3.0%	4.1%	2.7%	1.4%	2.4%	2.0%						



2)新規発生した褥瘡の改善率

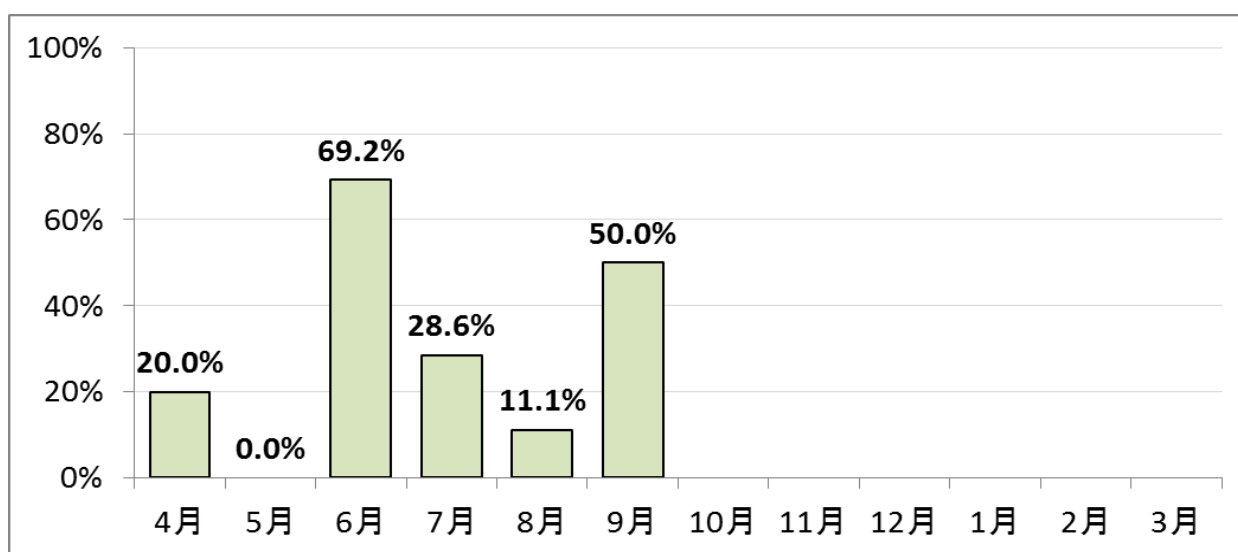
対象病棟： 一般病棟、回復期病棟、地域包括ケア病棟

計算式：
 分子) 1週間前の評価から改善した患者数(実人数)
 分母) 病棟で新たに褥瘡が生じた患者のうち、退院(転出)もしくは月末時点から1週間前の評価がある患者数(実人数)

対象期間： 毎月

データ件数:

	2022年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分子	2	0	9	2	1	5						
分母	10	12	13	7	9	10						
改善率(%)	20.0%	0.0%	69.2%	28.6%	11.1%	50.0%						

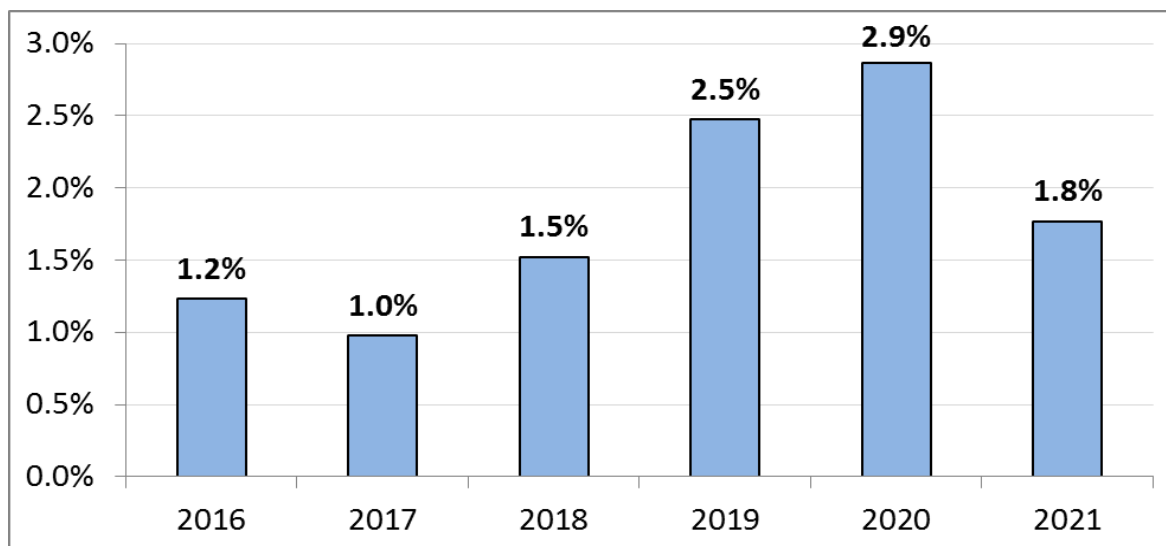


●年度別比較

1) 褥瘡推定発生率

データ件数:

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
分子	77	64	98	160	163	105
分母	6,261	6,563	6,443	6,467	5,682	5,934
発生率(%)	1.2%	1.0%	1.5%	2.5%	2.9%	1.8%



2) 新規発生した褥瘡の改善率

データ件数:

	2018	2019	2020	2021
分子	44	63	43	34
分母	75	112	100	76
改善率(%)	58.7%	56.3%	43.0%	44.7%

